

タウントーク in 北区2003

「あなたの**街**で市長と**語**ろう！」



愛着と誇りを持てる北区を目指し、区では「ともにとりくむ歴史と文化のまちづくり」をまちづくりの目標に掲げ、区民と区が協力して取り組んでいます。

先日、篠路コミュニティセンター文化祭の中で開催したタウントークでは、篠路中央保育園の子どもたちが演じる篠路子ども歌舞伎を鑑賞した後、その活動を支えている地域の皆さんとともに話し合い、「芸術・文化の薫るまちづくり」を進めていくためには、市民と行政がどのように役割を分かち合いながら取り組んでいくべきかを一緒に考えました。



▲長いせりふ回しやピタリと切る見得が決まった「白波五人男」

園児の素晴らしい演技に感動！

【タウントーク登壇者】

- ・篠路歌舞伎保存会会長 宮崎恒雄さん
- ・篠路中央保育園園長 林茂子さん
- ・劇団ペルソナ主宰 秋元博行さん
- ・篠路中央保育園主任保育士 長津美代さん
- ・札幌市長 上田文雄
- ・北区長 石黒進
- 司会 株式会社北海道新聞情報研究所 木村篤子さん



司会 初めて篠路子ども歌舞伎を見たというのですが、上田市長はどのような感想を持ちましたか。また、このような伝統文化を子どもたちが伝えていることについて、どのようにお考えになりますか。



上田市長 今日の子どもたちの演技は素晴らしく、本当に感動しました。

長いせりふもよく覚えていて、振り付けやかつらなどの衣装もバッチリでしたね。お父さん、お母さんをはじめ、指導されている方、保育園の方などの苦労がしのべれます。このような伝統文化が地域の中でしっかりと引き継がれているというのは、本当にうれしいことです。

